

参考資料

2013年度第1四半期 業績の概要

2013年8月12日

ソニー銀行株式会社

損益の状況(1):財務会計ベース

<連結・単体>

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

(億円)

<連結>

- **連結業務粗利益**

前年同期比12億円増加の64億円。
住宅ローンの積み上がりと資金利鞘の改善に加え、
リスクオンの流れでお客様の外貨取引が大幅に
増加。

- **連結経常利益**

四半期ベース過去最高の22億円。

- **連結四半期純利益**

前年同期比横ばいの14億円。
ソニーバンク証券の譲渡に係る税効果が
前年同期に利益を押し上げた要因により横ばい。

<単体>

- **業務粗利益**

前年同期比14億円増加の59億円。
連結と同様の要因により、
資金運用収支とその他業務収支が増加。

- **経常利益**

四半期ベース過去最高の22億円。

- **四半期純利益**

14億円へ黒字転換。
前年同期は、ソニーバンク証券株式の評価損を
計上したことにより純損失。

	<3ヶ月累計>	2012年度 1Q	2013年度 1Q	前年同期比	
連結	業務粗利益	52	64	+12	+23.9%
	経常利益	10	22	+12	+122.6%
	四半期純利益	14	14	△0	△1.4%

単体	業務粗利益	44	59	+14	+33.4%
	資金運用収支	40	50	+9	+23.5%
	役務取引等収支	0	△0	△0	—
	その他業務収支	3	9	+5	+181.3%
	営業経費	35	36	+1	+3.4%
	業務純益	9	22	+13	+148.9%
	経常利益	8	22	+14	+162.2%
	四半期純利益	△12	14	+26	—

損益の状況(2): 社内管理ベース

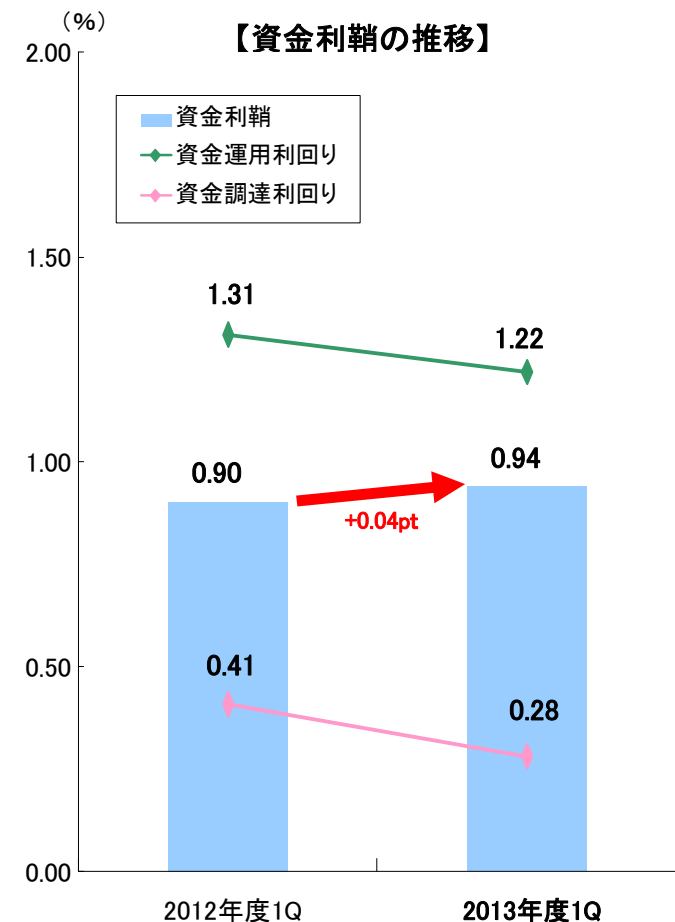
< 単体 >

- 資金利鞘は、資金調達コストの圧縮効果で前年同期比0.04ポイント改善。
- 住宅ローンを中心とした貸出金利息の増加などにより資金収支が改善したことに加えて、アベノミクス効果によるリスクオンの流れで、お客さまの外貨取引が大幅に伸びた結果、手数料等収支も増加した。

<3ヶ月累計>	(億円)			前年同期比	
	2012年度 1Q	2013年度 1Q			
業務粗利益	44	59	+14		+33.4%
資金収支*1①	42	45	+3		9.2%
手数料等収支*2②	1	4	+2		+119.3%
その他収支*3	0	8	+8		—
コアベース業務粗利益(A) =①+②	43	50	+6		+14.1%
営業経費等③	35	35	+0		+1.6%
コアベース業務純益 =(A)-③	8	14	+5		+63.8%

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

- 社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの
 - *1 資金収支…資金運用収支+その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
 - *2 手数料等収支…役員取引等収支+その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
 - *3 その他収支…その他業務収支より*1と*2の調整分を控除したもの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益
- コアベース 社内管理ベースのその他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの

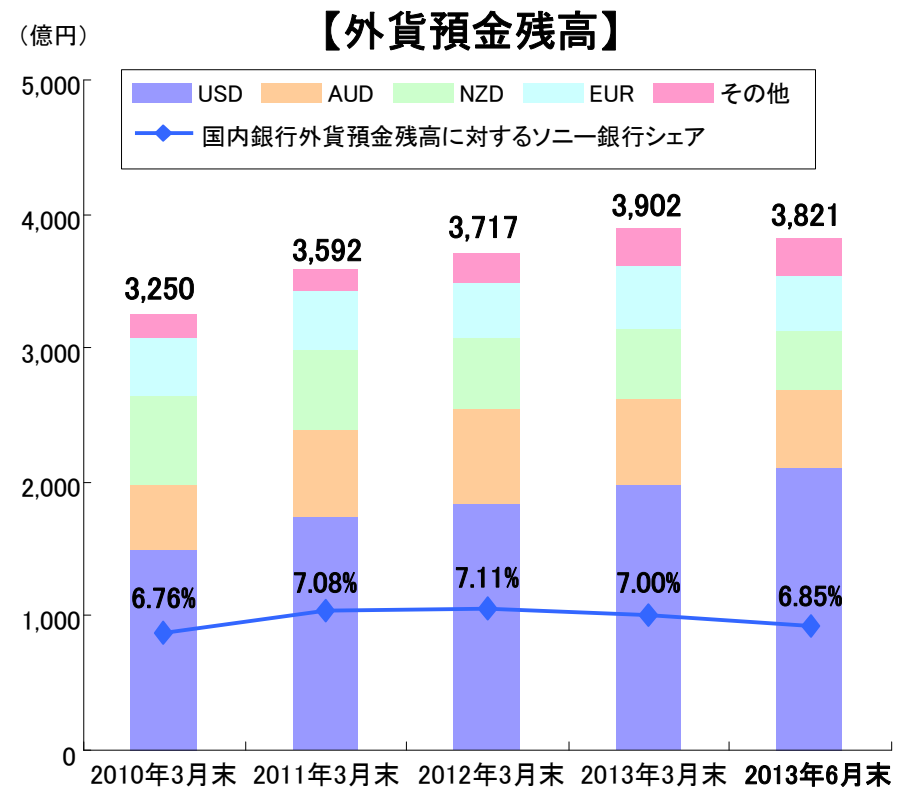
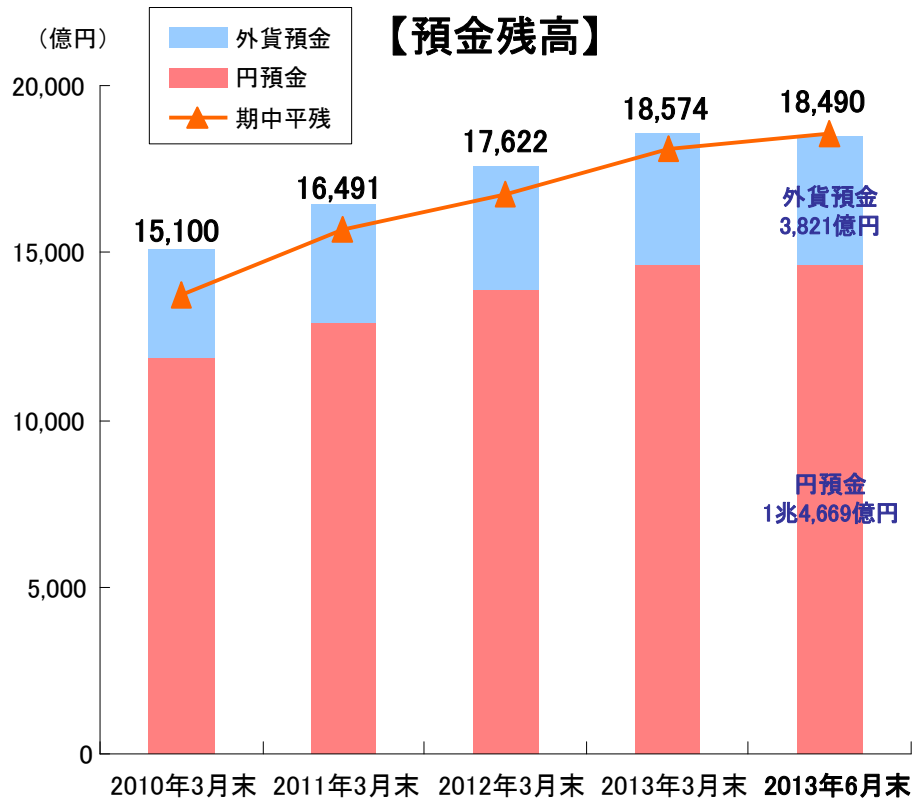


預金の状況

<単体>

- 円預金残高は、前年度末比横ばいの1兆4,669億円(預金構成は定期預金から普通預金へシフト)。
- 外貨預金残高は、円安進行に伴う円預金への振り替えが先行し、同80億円減少の3,821億円。一方、お客さまの外貨預金売買高は、リスクオンの流れで前年同期比6倍に増加。
- 2013年6月末の預かり資産残高(預金+投資信託)は1兆9,656億円。

金額は億円未満切捨てで表示

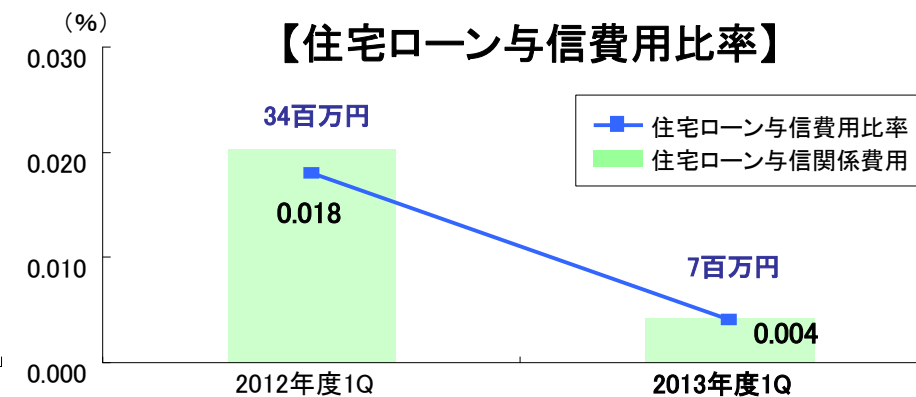
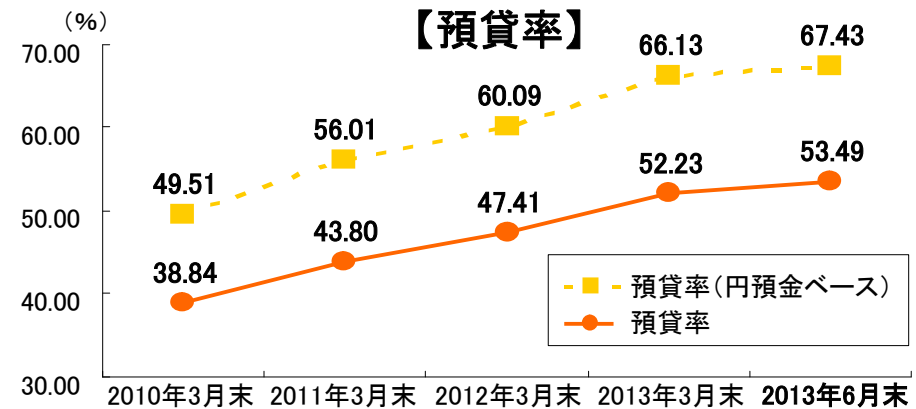
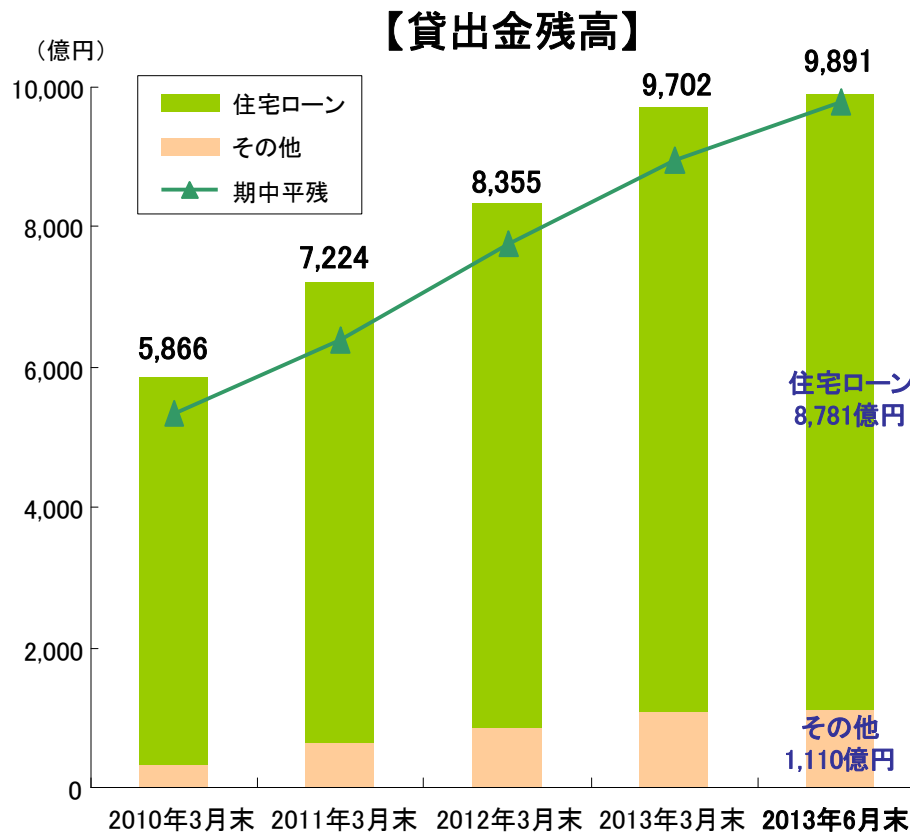


貸出金の状況

<単体>

- 貸出金は、住宅ローンを中心に、前年度末比189億円増加の9,891億円。預貸率も着実に伸び53.49%。
- 住宅ローン与信費用比率は、前年同期に引き続き低水準を維持。

金額は億円未満もしくは百万円未満切捨てで表示



● 住宅ローン与信費用比率(年率換算) = 住宅ローン与信関係費用 ÷ 住宅ローン平残
 ● 住宅ローン与信関係費用 = 貸出金償却(住宅ローン) + 貸倒引当金繰入額(住宅ローン)

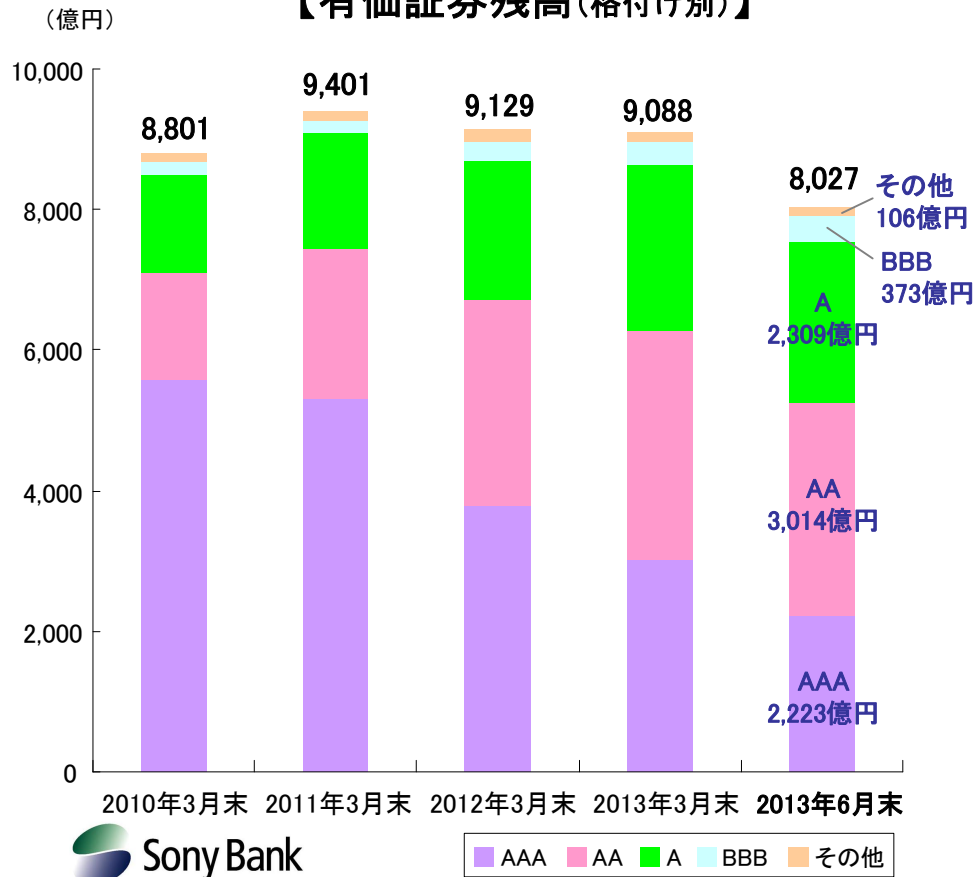
有価証券の状況

< 単体 >

- 有価証券は、高格付けの債券で安定的に運用。引き続き、AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は77億円。

金額は億円未満切捨てで表示

【有価証券残高(格付け別)】



【その他有価証券の内訳】

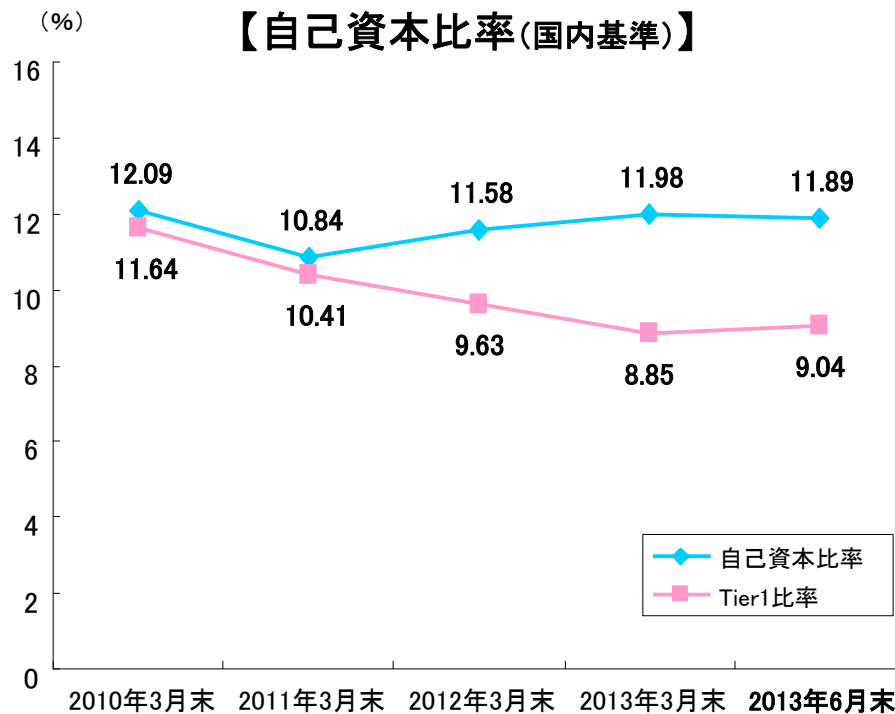
	2013年3月末	2013年6月末
債券	4,492	3,548
国債	1,860	1,126
地方債	612	558
社債	2,019	1,864
その他	4,491	4,374
外国債券	4,420	4,300
その他の証券	70	73
合計	8,984	7,922
< その他有価証券評価差額金 (税効果会計適用前) >	< 97 >	< 77 >

※時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳

自己資本比率・格付け情報

< 単体 >

- 自己資本比率は11.89%と、健全な水準を維持。



【格付け(2013年6月末現在)】

スタンダード&プアーズ	
長期カウンターパーティー格付け「A」	アウトルック「安定的」
短期カウンターパーティー格付け「A-1」	
日本格付研究所	
長期優先債務格付け「AA-」	見通し「安定的」

※平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出している。